

陽明中学校「立志のつどい」

あこがれの先輩が母校に凱旋

プロ野球・中村悠平選手



## 主な内容

12月定例会の概要	2	ページ
一般質問	3~8	ページ
12月定例会審議結果	8~9	ページ
議会関連条例の改正	10	ページ
決算特別委員会報告	11	ページ
常任委員会審査	12	ページ
委員会視察報告	13	ページ
各委員会報告	14	ページ

# おおの 議会だより

No.170 平成23年1月25日

発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町 1-1  
Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

# 12月定例会市議会の概要

第三七二回定例会市議会は、十一月二十九日から十二月十五日までの十七日間の会期で開催されました。  
 今定例会では、二十二年度一般会計補正予算案をはじめとする二十六議案、そして皆さんから提出された請願一件・陳情一件のほか、九月定例会から継続審査となっていた平成二十一年度決算認定議案一件、陳情四件について審議しました。そのほかに、議員提出の市会案八件についても審議しました。各議案等の審議結果は、八・九ページに記載しています。

## 主な議案

### 条例等

○大野市納税貯蓄組合奨励に関する条例を廃止する条例

(議案第七十九号)

(主な内容)  
 この条例は、昭和四十一年に納税貯蓄組合の設置を奨励することを目的に制定されたものです。それぞれの組合には、市税の取りまとめや口座振替の啓発・推進などを行っていたことから、この条例に基づき、市からは毎年奨励金が交付されてきました。  
 しかし、口座振替の普及など社会情勢の変化等により、組合の設置を奨励する必要がなくなったことから、平成二十三年四月一日をもって条例が廃止されることになりました。

○第五次大野市総合計画基本構想について

(議案第八十号)

(主な内容)  
 地方自治法に基づき策定される市の総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想です。  
 基本構想の期間は、平成二十三年度から三十二年度までの十年間とされ、市の将来像を「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」と定め、構想実現のための柱として「人が元氣」「産業が元氣」「自然が元氣」、そして「行財政改革」の四つを掲げています。

○大野市過疎地域自立促進計画について

(議案第八十一号)

(主な内容)  
 過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)に基づき、過疎地域の指定を受けている和泉地区の振興策や整備方針等の計画を策

定したものです。

時限立法である過疎法の期限が、平成二十二年三月の同法改正により六年間延長されたことから、これまでの計画を廃止し、新たな計画を策定したものです。

○大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

(議案第七十六号)

(主な内容)  
 本年度の人事院勧告に準じて、一般職の職員の給与等の改正を行うものです。  
 一般職は、若年層を除く職員の給料が○・一割減額、五十五歳以上の管理職は、給料等が当分の間一・五割減額されます。またすべての職員の期末勤勉手当が年間で○・二割引き下げられるとともに、市長、副市長、教育長の期末手当が年間で○・一五割引き下げられます。

## 予算

▼二十二年度一般会計補正予算(第三号)(議案第六十九号)  
 今回の補正では、除雪に係る民間除雪車の借り上げ料が八千五百万円増額されたほか、地域密着型介護老人福祉施設の開設支援として千七百四十万円、国の社会資本整備総合交付金を活用した市道橋梁の詳細点検費用として五百一十万円、集落営農組織に対する水稻直播機の導入に係る補助二百四十八万八千円、クマ等の大量出沒による有害鳥獣捕獲委託料二百十三万円、五つの児童センターへのAED整備費用百九十四万三千円などが増額されました。また人件費・職員給与費において、人事異動等に伴う調整や人事院勧告に基づく給与条例の改正により二千七百三十五万円減額

されたことなどから、総額で六千四十二万九千円が追加され、予算の累計は百七十八億七千九百三十五万七千円となりました。

▼二十二年度特別会計および企業会計補正予算(議案第七十号、七十五号)

事業名	補正額	総額
○国民健康保険事業	4,664万9,000円	39億1,058万8,000円
○和泉診療所事業	▲565万2,000円	1億441万7,000円
○介護保険事業	1億3,225万9,000円	33億8,492万円
○農業集落排水事業	▲641万7,000円	3億3,779万8,000円
○下水道事業	▲444万9,000円	10億4,956万5,000円
○水道事業	▲398万3,000円	1億7,296万円

## 審議日程

### ◆11月

29日 本会議(会期の決定、決算特別委員長報告・採決、採決、議案上程・提案理由の説明、一部議案討論・採決、市会案上程・採決)

30日～12月5日 休会

### ◆12月

6日 本会議(一般質問)  
 7日 本会議(一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託)  
 8日 常任委員会(産経建設)  
 9日 常任委員会(民生環境)  
 10日 常任委員会(総務文教)  
 11日～12日 休会  
 13日 特別委員会(中部縦貫自動車道・国道158号整備促進、議会等改革)  
 14日 休会  
 15日 本会議(各委員長報告・質疑・討論・採決、特別委員長報告、追加議案上程・採決、市会案上程・採決)  
 常任委員会協議会(総務文教)

# 一般質問

今回は十議員が、市長から提出された議案や市政全般について質問を行いました。

12月6日(月)					日程
(新国会) 松田信子 議員	(日本共産党) 榮正夫 議員	(清新会) 川端義秀 議員	(創造みらい) 常見悦郎 議員	(新国会) 本田章 議員	質問事項
①越前おおのの食育推進について ②男女共同参画プランについて ③越前大野城築城四三〇年祭終了後のまちづくりについて	①公契約条例を制定せよ ②国民健康保険税の値上げをするな ③国民健康保険法第四十四条の適用について ④七間朝市・青果市場について	①基金の活用について ②越前大野城築城四三〇年祭について	①基礎自治体について ②公共事業の入札について	①第五次大野市総合計画基本構想について ②新年度予算編成方針について ③住宅用火災警報器について ④米春卒業予定者の就職内定状況について	頁
5頁	5頁	4頁	4頁	3頁	
12月7日(火)					日程
(日本共産党) 新家竹雄 議員	(公明党) 藤堂勝義 議員	(日本共産党) 浦井智治 議員	(創造みらい) 谷口治衛 議員	(清新会) 高岡和行 議員	質問事項
①大野市過疎地域自立促進計画について ②市庁舎建設と合併特例債について ③和泉地区テレビチャンネル減少問題	①大野市土地開発公社について ②学校の統廃合による廃校活用について ③福井社会保険病院について	①地域経済の活性化をはか ②福祉政策の前進を ③TPPに反対する姿勢は	①大野市の学校教育について ②第五次大野市総合計画について ③越前大野城築城四三〇年祭を今後どう生かすか	①予算編成について ②道路行政について ③農林業について ④中部縦貫自動車道大野インターについて	頁
8頁	7頁	7頁	6頁	6頁	

## 第五次大野市総合計画基本構想について



一般質問  
本田章 議員  
(新国会)

**質問** 基本構想と前期基本計画の素案をそれぞれ市民に示し、パブリックコメントで意見を求めたが、何人の市民からどのような意見が出され、その意見はどのように反映されるのか。

**答弁** 基本構想素案には五人の方から九件、前期基本計画の素案には一団体七人の方から二十九件の意見をいただいた。基本構想と同時に、現在一つ一つを検討し、前期基本計画へ反映させるための作業を進めており、この結果は、市の考え方がまとまり次第、公表する予定である。

**質問** 高齢化が著しい大野市において、市民の意見を聞く方法として、インターネットや広報紙を利用したパブリックコメント頼りでいいのかという疑問を感じているが、市の考え方は。  
**答弁** 実績を見ると低調である。市民が行政に関心を高めていただけたら、各地区・団体との話し合いを綿密にし、今後とも地道な活動を続けたい。

## 新年度予算編成方針について

**質問** 長引く景気低迷のあおりをもちに受けて、税収増に一段と厳しさが増す地方財政。国の予算配分も不透明な中、基本的な予算の編成方針はどのように考えているか。

**答弁** 本来、予算の編成は、依存財源に左右されない財政基盤をもつて行うことが望ましい姿であるが、まずこれらの依存財源の動向、市税などの自主財源の動向との確な収入見込みを立てて臨む。歳出面では、第五次大野市総合計画の初年度に当たることから、この推進に必要な事業には重点的に予算配分することとし、そのためには経常経費の節減に努めながら収支を図りたい。

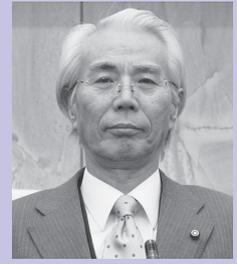
## 住宅用火災警報器について

**質問** 設置状況と設置猶予期間終了時における数値目標は。

**答弁** 設置率は、平成二十二年八月の消防庁の発表では全国五八割、福井県四八割。本市では四一割であったが、その後設置率の向上が見られ、十一月末現在五〇割となっている。

今後は積極的に戸別訪問を行うなど普及啓蒙活動を実施し、全戸設置を目指して鋭意努力していく。





一般質問  
常見 悦郎 議員  
(創造みらい)

基礎自治体について

**質問** 理事者職員は、誰のための仕事をしているのか。

**答弁** 市長就任以来、職員に対し、常に意識改革を図り、誰のために何の目的で仕事をするのかを確認するよう強く指示してきた。

**質問** 部長制移行に伴い決裁区分を見直さないか。

**答弁** 見直す場合、如何にすべきか検討するよう指示している。

**質問** 理事者職員は、議会の役割をどのように理解しているのか。

**答弁** 執行機関と議会は独立・対等の関係に立ち、相互に緊張関係を保ちながら、協力して自治体運営に当たるものであり、議会の重要な役割として、執行機関を監視・評価することと、地方自治体の基本事項を決定する機能を有していることと認識している。



公共事業の入札について

**質問** 入札における公平性の確保に努めていることは何か。

**答弁** 設計価格が百三十万円以上は、一般競争入札（郵便入札）で実施し、業種、等級、技術者等の条件を明示し広く参加者を募っている。

**質問** 保健医療福祉拠点施設の空調工事について、国交省の区分でも、配管を伴う工事は「管工事」と明示しているのに、何故電気工事で発注したのか。

**答弁** 主たる部分が電気機器であることから電気工事で発注した。

**質問** 冷暖房設備は、高圧ガスを媒体とするもので、配管工事が伴うと考えるがいかがか。

**答弁** 電気工事に発注した部分には、機器設備工事が五七割を占めているというところによる判断である。

**質問** 中保簡易水道配水棟工事の再度公告入札の理由は何か。

**答弁** 入札が不調になった場合、業者を入れ替えて入札する方法と、再度公告入札の方法があるが、前者は指名競争の場合で、今回は一般競争入札であることから再度公告入札とした。

**質問** 国交省から現入札の方法は劇薬が効きすぎた、今後は低価格入札を改めるよう通達が来ていると思うがどうか。

**答弁** 通知については、市の方にも届いている。



一般質問  
川端 義秀 議員  
(清新会)

基金の活用について

**質問** 「大野市農業農村振興基金」「大野市商業振興基金」「大野市地域振興基金」の活用について聞きたい。

**答弁** 「農業農村振興基金」は、越前おおの型農業の推進および農村集落の活性化に資する活動を支援することを目的に、平成二十二年三月に一億円を積み立て設置したもので、独自の農業・農村の活性化の取り組みや特産物の栽培を積極的に行う小規模農家を支援する事業、農産物の加工または販売に必要な機械などの整備を支援する事業、また加工商品の販売に奨励金を交付する事業に充当しようと考えている。今後も意欲のある農村集落や農家などが、積極的に農村の活性化や農業の振興に取り組む活動に対して本基金を広く活用したい。

**質問** 「商業振興基金」は、商業者の事業振興を図ることを目的に、昭和五十九年度から五カ年で一億円を積み立て、基金の利子を活用して商店街振興組合などが取り組む「にぎわい創出」の事業

業に対して継続的に支援するためのものであったが、二十二年四月には、基金を取り崩し活用できるよう条例の一部を改正した。本年度は、各商店街が取り組む「もてなし空間の整備」や、築城四三〇年祭の各イベントで共通に使用できる抽選券付きお楽しみ共通クーポン券の発行など、消費拡大に向けた取り組みに対して支援し、本年度の基金取り崩し額は八百六十万円を予定している。来年度以降は、商店街が実施する地域力や市民力を生かした取り組みなど、商業の活性化に資する事業に支援したい。

「地域振興基金」は、県からの発電所所在市町に対する地域振興交付金を原資として、広く市の地域振興を図る事業の財源に充てることを目的に、二十二年七月に八億円を積み立てたものである。本基金の利子については、当面、前年度の個人市民税の収入実績の二割に相当する額を枠として実施する「越前おおの地域づくり交付金事業」の財源の一部に充てることとしている。今後、地域振興のための事業のほか、必要があれば、企業誘致をはじめとした地域の活性化につながる事業にも活用したい。





一般質問

榮 正夫 議員  
(日本共産党)

公契約条例を制定せよ

**質問** 平成二十二年十一月の臨時議会での公契約条例についての私の質疑に対し「研究した結果、制定の必要なし」との答弁であったが、公契約条例の研究をどのようにしたか。

**答弁** 一つに、労働条件の向上のための規定は国全体の政策課題であること。二つに、民間業者の雇用契約に介入することは、自治体の権限を逸脱することになる。

**質問** 公契約条例の目的は、公共調達における対価は税であり、その対価が地域経済に公正・公平に波及するよう図られるためのものだと思うが。

**答弁** 公契約というものは、大きな意味で地域財政というか、その要素はある。国で法制定の動き等があれば、その法制定の動き等もいろいろな形で研究し、また内部で検討したい。

国民健康保険税を値上げするな

**質問** 先日の国保運営協議会での「国民健康保険税」の改正案の資料では、保険税の値上げを示唆しているが、値上げすべきでない。

**答弁** 大野市の国民健康保険の財政運営は、被保険者の高齢化と医療技術の高度化等により医療費が毎年増加することなどによって赤字会計になっており、保険税の値上げはやむを得ないと考えている。

**質問** 財政運営上の数字合わせのみでは、値上げの必然性の説明になるのみである。国民健康保険法の第一条の目的に立脚していく必要があると思うがどうか。

**答弁** 議員の言うことも理解できるが、制度自体の成り立ちは相互扶助制度であると認識している。

七間朝市および青果市場について

**質問** 七間朝市・青果市場はそれぞれ性格は異にしているが、農政の位置付けと将来展望はどうか。

**答弁** どちらの市場にも一長一短があるが、共通しているのは高齢者を中心とした小規模農家や自給的農家が多く、大規模は適さない。



一般質問

松田 信子 議員  
(新国会)

越前おおの食育推進について

**質問** 食育について、市長の認識と方向性は。

**答弁** 食育は「越前おおの元気プラン」の実践であり、食を理解し活動することは健康や文化を守るだけでなく、地域の環境や産業を守ることもつながる。地産地消や乳幼児からの発育・発達段階に応じた食の体験・学習の推進など各分野で取り組みを進める。

**質問** 平成二十三年以降の食育推進計画策定期間は。

**答弁** 二十三年度末を目途に計画していく。

男女共同参画プランについて

**質問** 十年間の成果と反省点・課題は。

**答弁** 市民アンケートの結果、各分野における男女の地位、男子も炊事・洗濯などの技術を身につける必要性、政治における男女の地位、家庭内における男女の地位など、十年前に比べ明らかに共同意識が進んでいることから、一定の成果と認識している。

男女共同参画の推進については、行政施策としての具体的な手法の展開に加え、市民生活のあらゆる場面において、いかにその趣旨を浸透させるかが最大の課題である。

越前大野城築城四三〇年祭終了後のまちづくりについて

**質問** 祭りの総括と検討、費用対効果など一連の結果を市民に提示する時期は。

**答弁** 越前大野城、御清水、七間朝市などの周辺観光施設にぎわいが増したことで、市民の間には、四三〇年祭を通してまちづくりへの参加意識が生まれるなど成果と確信している。結果は終了後に示す。

**質問** 祭り終了後のまちづくりの仕掛けは「大野で体験できる」「大野でしか体験できない」ことを積極的に取り入れるべき。農業体験、郷土料理体験と地元観光地・名所旧跡を織り込んだ仕掛け、アイデアを視野に入れ、観光と農工商連携を強力に推進していく必要があると思うが。

**答弁** 郊外に点在する観光資源、魅力的な食資源と、まちなか観光を結び付けた新たな観光ルートの開発に取り組み、交流人口の拡大と観光客の周遊滞在時間の延長を図っていく。



一般質問  
高岡 和行 議員  
(清新会)

予算編成について

**質問** 平成二十三年度予算編成における重要留意点は。流動的資金比率アップに対する取り組み、助成金・補助金に対する取り組みは。

**答弁** 第五次大野市総合計画の初年度に当たることから、より一層の経費節減に努めながら優先度の高い事業から行う。

流動的資金比率アップへの取り組みは、国・県の補助金等を有効利用するとともに、第六次行政改革大綱に基づき、行政改革に取り組んでいきたい。助成金・補助金においては「現状維持」「事業内容の見直し」「事業の廃止」など八段階に分類しており、この結果を予算に反映していきたい。

道路行政について

**質問** 車道を狭めた歩道拡幅についての通行啓発は。流雪溝の流量が少ない冬季間の除雪・排雪計画はどうか。

**答弁** 折を見て自転車利用者等に交通安全指導を行いたい。

道路延長、流雪溝の総延長が増加しているため、早朝除雪を実施するとともに、市の除雪車で直接除雪も行いたい。時には、排雪も計画していく。

農林業について

**質問** 農林業の担う役割と現状はどうか。また間伐についての推進計画・広報はどうか。

**答弁** 農林産物のブランド化の推進では、大野で収穫されたことを保証するシールを貼り、積極的に売り込んでいく。農林産物の取扱量を増やすなど、売り上げを拡大することが今後の課題である。

本市における間伐の推進計画では、平成二十五年まで三五千五百畝の間伐を行うことを目標としている。効率的な間伐促進のため地域ぐるみの取り組みが必要であり、森林組合等を中心に施業の集約化を図り、間伐材が適切に利用されるよう、森林組合と間伐材受け入れ工場との調整に努めている。

中部縦貫自動車道大野インターについて

**質問** 大野インター周辺土地利用について聞きたい。

**答弁** 大野の北の玄関口と考え、新産業や流通・情報関連企業等の進出を誘導していきたい。



一般質問  
谷口 治衛 議員  
(創造みらい)

大野市の学校教育について

**質問** 特色ある学校づくりのために、どのような取り組みをしているのか。

**答弁** 身近な地域の伝統文化や産業、環境を調べたり体験したりする「ふるさとを知る」活動を通して、児童生徒

の中にふるさとへの愛着と誇りを育てることと、児童生徒が地域の行事等に積極的に参画したりする「ふるさとを創る」活動を通して、人と人の絆を深めながら、思いやりの心、感謝の心、協力して物事を成し遂げようとする心を育てることに努力している。

**質問** 学校における情報教育の現状は。

**答弁** コンピューターを利用してインターネットで情報を得る方法を学ぶとともに、警察と連携して安全にインターネットを利用する方法を指導している。

**質問** 小学校・中学校における男女共同参画についての取り組みは。

**答弁** 男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画を実現するための

取り組みを行うとともに、男女の心と体の違いについて学んでいる。

第五次大野市総合計画について

**質問** 限られた職員が持てる能力を発揮して大きな計画を実行するためには、すべての職員が多くの情報を共有する必要があると思うがどうか。

**答弁** 全庁的に事業工程表を作成し、庁内LANによって職員がいつでも閲覧できるようにして情報を共有している。

**質問** 農業従事者のやる気を引き出し、若い農業従事者を増やすための施策は。

**答弁** 農業従事者の所得を増やすために、里芋やネギなどの特産作物の生産促進に力を入れている。また新規就農者が安定して経営できるように、住宅や機械に対する助成を行っている。

越前大野城築城四三〇年祭について

**質問** 越前大野城築城四三〇年祭が終了した後の大野市を活気づける施策は。

**答弁** 訪れてくれた観光客の方には、ピーターになってもらい、滞在時間を増やすために工夫していきたい。



築城430年祭・時空行列



一般質問  
浦井 智治 議員  
(日本共産党)

地域経済の活性化をはかれ

**質問** 不況で仕事がない中小建設業者や公共工事に入れない業者等のため、住宅リフォーム助成制度をつくり、仕事と雇用の増加を図ってはどうか。

**答弁** これまででは行政課題として取り組んでいないが、今後の研究課題になると考えている。

**質問** 市では、移住してきた人が家を新築する場合百万円、中古住宅を購入した場合五十万円補助しているが、市内在住者でもこの制度を利用できないか。また市内の業者により新築した者に限定して地域経済の活性化を図ってはどうか。

**答弁** 今後は、転出による人口減少に歯止めをかけるため、既に市内に在住する若者についても助成の対象にできないか考えている。また新築住宅の場合、地元業者が施工した場合に百万円助成しているが、市外の業者の場合は五十万円としており、地元業者は割り増しの補助をさせていただいているので、地元業者にとって経済効果がある

と考えている。

**質問** 現在、ほとんどの市営住宅の募集は停止されて入居できなくなっている。高齢者や低所得者のため、市営住宅を建設すべきではないか。

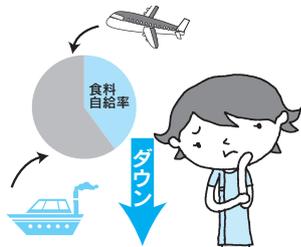
**答弁** 建設には大きな財政負担が必要になる。また新築した場合は、家賃が高額になるため、低所得者層の需要にはつながらないので、現在は新たな住宅建設は考えていない。

しかし、住宅建設に代わる低所得者に対する家賃補助制度の創設などを検討していく。

TPPに反対する姿勢は

**質問** 日本が環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）に参加すると、食料自給率は四〇％から一三％に急落し、米価の下落だけでなく、中小企業・雇用にも大きな影響を及ぼす。市への影響はどうか。

**答弁** TPPに参加すると、本市農業の大きな割合を占める米については、平成十八年度に約五十五億円となっていた生産額は三分の一に減少し、食料自給率が低下するなど、地域経済にさまざまな影響が危惧される。



一般質問  
藤堂 勝義 議員  
(公明党)

大野市土地開発公社について

**質問** 土地開発公社の今後の役割・業務と存続について聞きたい。

**答弁** 大野市の発展と成長の鍵を握る中部縦貫自動車道の供用開始に伴う周辺整備や「越前おおのまるごと道の駅構想」の実現、企業誘致など用地取得を必要とする事業を推進していくため、土地開発公社は大きな役割を持っている。公社は長期保有土地もなく、健全な経営を維持しており、今後も存続していきたい。

**質問** 第五次大野市総合計画基本構想の中に土地開発公社も織り込むべきではないか。

**答弁** 公社の対応すべき事業として、前期基本計画の中でも「越前おおのまるごと道の駅構想」も載っているのので、一度精査する中で検討する。

学校の統廃合による廃校活用について

**質問** 廃校施設活用の現状は。

**答弁** 文部科学省が調査開始した平成四年度から二十一年度までの十八年間で、廃校数は五千七百九十六校に

上り、平均して毎年四百校近くが廃校。県内においても十八年間で小学校三十六校、中学校四校が廃校となっている。本市においても六呂師・森目小学校が廃校になっている。森目小学校の利活用については、地元関係者と検討会を設け検討中。

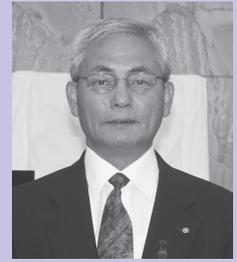
福井社会保険病院について

**質問** 福井社会保険病院の現状は。

**答弁** 独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構法の一部を改正する法律が二十二年八月に施行され、RFOの存続期限が二年間延長された。RFOは暫定的な運営主体であり、社会保険病院の長期的展望を図ることは困難である。これを受け厚生労働省は、病院所在自治体に対しアンケートを実施。福井県と勝山市は「国が責任をもつて公的病院として存続させるべき」と回答した。また大野・勝山地区広域行政事務組合から県に対し、福井社会保険病院を公的病院として存続させる法案の早期成立を国に働き掛けることを重点項目として要望。

**質問** 福井社会保険病院の透析専門医の現状は。

**答弁** 専門医が退職したため、主に院長と内科医師が、福井大学附属病院等の透析専門医の支援を得ながら、病状の安定した患者を中心に透析診療している。



一般質問  
新家 竹雄 議員  
(日本共産党)

大野市過疎地域自立促進計画について

**質問** 生産機能や生活環境の整備が他の地域に比較して低位にある地域に対して、過疎地域自立促進特別措置法がある。事業費は起債が認められ、七割が交付金で措置されている。

前過疎計画による事業費は五年間で三千九百七十万円だが、実施できなかった事業は何か。その理由は何か。また新計画では、住民から要望の強かった平成の湯改築が、再度事業計画されているが、実施しなければ意味がないかどうか。

**答弁** 農業用排水路整備は、現施設の老朽度や地元負担金等の見地から、また地域資源活用総合交流促進整備は課題が多く、遠隔地医療システム導入は、医療機関と連携できる状況にない等々により、それぞれ事業化を見送った。

新計画は、要望の強い市内唯一の温泉「平成の湯」の改築、荒島岳下山登山道整備、面谷鉾山への市道整備を計画し事業化したい。

市庁舎建設と合併特例債について

**質問** 市庁舎は建て替えが前提に検討されているが、以前実施した「耐力度調査」では、一部に耐震安全性に疑問があるが「竣工当時の部材耐力を維持している」としている。耐震補強を検討したのか。四十億から五十億円と見込まれる新庁舎建て替え費用は合併特例債を充てるのか。市が実施した市民アンケートでは「安全、安心、医療、福祉の充実」を求める声が約七割で第一位だった。こうしたところに財源を使うべきであり、効率性から、勝山市のように耐震補強を行う考えはないか。

**答弁** 現庁舎は昭和三十七年に建設された。耐力診断では、公共施設として耐震安全性に疑問ありと評価され、防水・給排水・空調に問題を抱えており、災害時の拠点として機能できない。またバリアフリー化、省エネへの対応も求められている。放置することは市民サービスの質の低下が懸念される。耐震補強は検討せず、建て替えて検討している。その財源は合併特例債と庁舎建設基金（昨年度末現在で約九億円）を考えている。

合併特例債は、昨年度末現在で二十二億円ほど消化し、合併時に策定した「新しいまちづくり計画」で予定されている額に対する残は二十二億円ほどになる。

平成22年12月第372回定例会 議案等の審議結果および各議員表決

(議決結果に賛成○、反対×。欠席、除斥等による不参加-。議長(砂子三郎氏)は採決に加わらないので「/」で表示)

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	新家竹雄	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤啓治	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
議案	64 平成21年度大野市歳入歳出決算認定について		認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/	×
	65 平成21年度大野市水道事業会計の決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	69 平成22年度大野市一般会計補正予算(第3号)案		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	/	×
	70 平成22年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	71 平成22年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第1号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	72 平成22年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	73 平成22年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	74 平成22年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	75 平成22年度大野市水道事業会計補正予算(第1号)案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	76 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	/	×
	77 大野市火災予防条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	78 大野市消防手数料条例の一部を改正する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	79 大野市納税貯蓄組合奨励に関する条例を廃止する条例案		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
	80 第五次大野市総合計画基本構想について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	新家竹雄	前田政美	谷口治衛	石塚淳子	沢田国夫	藤堂勝義	川端義秀	宮澤秀樹	松原啓治	山本鐵夫	島口敏榮	高岡和行	松田信子	浦井智治	本田章	常見悦郎	松井治男	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
議案	81	大野市過疎地域自立促進計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	82	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	83	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	84	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	85	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	86	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	87	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	88	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	89	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	90	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	91	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	92	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	93	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	94	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	95	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	96	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	97	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	98	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100	大野・勝山地区広域行政事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
101	平成21年度大野市下水処理センター主ポンプ棟建設工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
102	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
103	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
104	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市議会案	12	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	議決不要	「市議会案第12号」可決により議決不要																				
	14	電源立地地域対策交付金の水力発電施設周辺地域交付金相当部分(水力交付金)に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	大野市議会委員会条例及び大野市議会政治倫理条例の一部を改正する条例案	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
	16	大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案	議決不要	「市議会案第15号」可決により議決不要																				
請願	5	T P P の参加に反対する請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	継3	工事内容による電気工事としての発注について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	継6	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	継8	母子家庭等(母子、父子家庭)の高校就学奨励事業の適用追加について	不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	
	継10	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	米政策及びT P P に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 請願

### ▼T P Pの参加に反対する請願

提出日 平成二十二年十一月二十五日  
提出者 国民の食糧と健康を守る運動

福井県連絡会会長 平澤 孝

紹介議員 新家竹雄議員

審議結果 趣旨採択

## 陳情

### ▼米政策及びT P Pに関する陳情書

提出日 平成二十二年十一月二十四日  
提出者 テラル越前農業協同組合  
代表理事組合長 西川文人 外一名  
審議結果 採択



▼工事内容による電気工事としての発注について（七月・九月継続審査分）  
提出日 平成二十二年三月二日  
提出者 大野電業協会会長前田豊次  
審議結果 趣旨採択

### ▼人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書

（七月・九月継続審査分）  
提出日 平成二十二年六月三十日  
提出者 日本の子供の未来を守る会  
福井支部 荒井万記子  
審議結果 継続審査

### ▼母子家庭等（母子、父子家庭）の高校就学奨励事業の適用追加について（七月・九月継続審査分）

提出日 平成二十二年七月九日  
提出者 大野市母子寡婦福祉連合会  
会長 梅沢伴子  
審議結果 不採択

### ▼地方財政の充実・強化を求める意見書採択について（九月継続審査分）

提出日 平成二十二年八月三十日  
提出者 自治労福井県本部  
執行委員長 酒井里巳  
審議結果 継続審査

## 人事案件

▼教育委員会委員に松田氏の任命に同意  
教育委員会委員に、松田公二氏（中挾三丁目・再任）を任命することに同意しました。

### ▼公平委員会委員に早川、村西両氏の選任に同意

公平委員会委員に、早川きよみ氏（森本・再任）、村西勝雄氏（中据・再任）を選任することに同意しました。

## 議会関連条例

今定例会で可決した議会関連条例の改正概要は次のとおりです。いずれも議員から市会案として提出され、可決したものです。

### ▼議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（市会案第十二号）

本年度の人事院勧告に準じ、議員期末手当を年間で〇・一五五分引き下げます。

### ▼大野市議会委員会条例及び大野市議会政治倫理条例の一部を改正する条例（市会案第十五号）

平成二十三年二月の市議会一般選挙から議員定数が二人減となることに伴い、改選後の常任委員会、議会運営委員会、議員政治倫理審査特別委員会の定数をそれぞれ減数しました。



## 意見書

今定例会で可決した意見書の概要は次のとおりです。いずれも議員から市会案として提出され、可決したものです。

### ▼「電源立地地域対策交付金の水力発電施設周辺地域交付金相当部分（水力交付金）に関する意見書」

経済産業省が示した水力交付金の見直し案は、交付金単価を三分の一に引き下げ、合併前市町村の合併特例を廃止するなど非常に厳しい内容となっております。この交付金を受けている当市にも大きな影響があることから、水力交付金を法律に基づく恒久的な措置とするとともに、単価、最低保証額、総額等については少なくとも現状を維持することを、政府等関係機関に対し要請するものです。

### ▼「米政策およびT P Pに関する意見書」

米価の大幅下落を招かぬよう、政府棚上げ備蓄を前倒し実施すること。T P P交渉へ参加しないこと。また農業者戸別所得補償制度について、十分な予算の確保と地域裁量に基づき対象作物や単価等の設定ができる、生産現場の実態を踏まえた制度に改善・見直しすることなどを、政府等関係機関に対し要請するものです。



## 常任委員会審査

市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。



### 産経建設

**Q** 穴馬紙作りの後継者はいるのか。

**A** 和泉公民館において、和泉小学校の児童とともに地区民や職員が、保育園の卒園証書や小学校の卒業証書作りを行い、後継者育成に取り組んでいる。



穴馬紙作り講座(和泉公民館)

**Q** 市道橋梁の詳細点検の結果はどうか。

**A** 十五歳以上の九十一橋梁を対象に点検を行った結果、架け替えや修繕の必要なものがあつたので、今後、優先順位を考慮した修繕計画を策定し、その計画に基づき、国の補助を受けながら対応する。

**Q** 国道一五七号大野バイパス建設に係る埋蔵文化財調査はすべて終わったのか。

**A** 南新在家・中保間の調査は終わっているが、用地買収・物件移転の交渉を進めている中保・菖蒲池間は、事前調査として試験掘りを行っているという。

**Q** 例えばゴルフカートのような、市街地での高齢者等の足となる手軽な交通手段は考えられないか。

**A** 来年度、市街地に超小型電気自動車「コムス」を試験的に一台配備し、市民にも乗っていただし、市内での普及を図りたい。その普及状況などを見ながら、今後の方策を検討したい。



超小型電気自動車「コムス」

### 民生環境

**Q** 高齢者の住基カード取得状況は。

**A** 高齢による運転免許証返納に代わる身分証明書として、介護保険制度説明会など高齢者の集まる機会をとらえてカード取得の啓発を行ったところ、高齢者の取得が増加している。

**Q** 保育料の減免措置の現状は。

**A** 本市でも、大野市保育所保育料徴収規則の減免規定に基づき、保育料負担について個々に相談を受け付け、納入義務者の事情を考慮し対応している。

**Q** 子ども医療費資格登録申請状況は。

**A** 平成二十二年十月診療分から、子ども医療費助成を中学三年生まで拡大し、現在小中学生の資格登録申請を受け付けている。医療費助成は二年間さかのぼって支給できると、今後も随時申請を受け付ける予定で、今後も随時申請を受け付けていく。

**Q** 地域医療の推進について聞きたい。

**A** 地域医療講座等を通して「かかりつけ医」を持つことの意味と必要性について普及啓発を図っている。また在宅医療については、地元「かかりつけ医」のいない患者が市外医療機関から退院する際、住み慣れた地域で医療が受けられる病診連携の調整等の体制づくりについて検討している。

### 総務文教

**Q** 市民グラウンドは、平成二十三年春に使用できるのか。

**A** 平成二十三年のシーズン中は使用することができる。

**Q** 一般会計の教育費関連の予算は、補正予算ではなく、当初予算に計上することはできないのか。

**A** 当初予算に計上できないよう、常々市から県教育委員会に要望しているが、実現していない。

**Q** 過疎地域自立促進計画に掲載されている過疎債の対象となる事業は、市が事業主体でなければならないのか。

**A** 今回の計画には、基本的に市が事業主体となる事業を掲載してあるが、県事業等への負担金も対象になる。

**Q** 市自転車駐車場の放置自転車は何台ぐらいあるのか。

**A** 平成二十二年七月に、長期間駐輪してある自転車に撤去を告知する旨の札を取り付け、一カ月後に九十五台を排除した。



市自転車駐車場の自転車

### 一月臨時市議会を開催

第三七三回臨時市議会が一月二十四日に開催されました。審議結果等については、次回お知らせします。

# 委員会視察報告

## 総務文教常任委員会

平成二十二年十一月十六日から十八日にかけて、新潟県佐渡市の「バイオマス利活用事業」、新潟県糸魚川市の「糸魚川ジオパークの取り組み」「糸魚川子ども一貫教育」について視察を行いました。

佐渡市では、バイオディーゼルの燃料事業と木質バイオマス利活用、生ごみ・下水道汚泥等の利活用状況について説明を受けた後、バイオディーゼル燃料化の施設を視察しました。

その後、木質バイオマスの処理施設を視察し、説明を受けました。委員からは、てんぷら油燃料化の問題点や木くずを原料としたチップ・ペレットの販路拡大、木質バイオマスにかかる最終的な処分方法等を中心に質問が出されました。

糸魚川市では、秋田県湯沢市議員と合同で糸魚川ジオパークについて説明を受けた後、



木質バイオマス処理施設(佐渡市)

同施設を視察しました。

その後、糸魚川市子ども一貫教育方針に基づく「こども課」の概要、一環教育方針作成の経緯および取り組み状況について説明を受けました。委員からは、ジオパーク事業への市民意識の向上策や地域振興策、子ども一貫教育方針を策定するに至った経緯、保護者・地域への広報活動、児童生徒への効果等について質問が出されました。

## 議会運営委員会および議会等改革特別委員会

平成二十二年十一月二十五日、二十六日に、議会運営委員会、議会等改革特別委員会が合同で、愛知県新城市の「議会常任委員会の複数所属制度」「議会改革の取り組み」、愛知県刈谷市の「市庁舎の建て替え」「議会改革の取り組み」について視察研修を行いました。

新城市議会では、昨年九月に「予算・決算常任委員会」を設置。議長を除く全議員がこの委員会に所属して、当初・補正予算、決算認定の議案を専門的に審査しているとのこと。また議会改革の取り組みとして、市民の意見を聞くタウンミーティングの開催、一般質問の一回一答制の導入、議会諸会議の原則公開、議長・

副議長の立候補制の導入、質疑の発言回数の撤廃などを実施しています。さらに平成二十一年六月定例市議会から、議会での市長所信表明や一般質問等を、ケーブルテレビによるライブ中継、インターネットによるライブ配信・オンデマンド配信しています。

刈谷市は、昨年十月に新市庁舎の供用を開始しました。新市庁舎は、鉄骨鉄筋コンクリート造十階建て、延べ床面積約二万五千六百三十七平方メートル、建設予算は八十七億七千二百万円とのこと。建設に当たっては、プロポーザル審査により、応募のあった二十者の中から、各フロアの中央部に市民と職員がコミュニケーションをとるための「スキップフロア」を設置し、制震構造を提案した業者を基本設計者に選定し、市民に親しまれ、防災拠点となり得る庁舎にしたとのこと。です。

また議会改革の取り組みとして、今後、議会基本条例制定や委員会での行政視察の在り方などについて検討していくとのことでした。



新庁舎議場(刈谷市)

## 中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

平成二十二年十一月八日・九日に、長野県松本市、岐阜県美濃加茂市において視察を行いました。

松本市では「松本市における中部縦貫自動車道の整備状況」について説明を受けました。松本市でも、中部縦貫自動車道の整備は重要課題の一つとして位置付けられています。が、「安房峠道路」が平成九年に供用開始されてからは、今日まで整備が見送られているのが現状とのこと。特に急カーブが続く、渋滞が発生する区間については、国道一五八号の改良という形で少しずつ整備を行っていきたいとのことでした。

美濃加茂市では、平成十五年にオープンした「日本昭和村」を視察しました。道の駅やハイウェイオアシス、サービスイリア、JAの青空市場などを兼ね備えた公設民営の施設で、昨年度の入場者は五十一万人とのこと。です。

従業員は地元採用がほとんどで、季節によっては最大で四百五十人の雇用があるそうです。農業体験や古民家の移築なども行っており、今後はリピーターの確保に努めたいとのことでした。

## 委員会報告

各委員会における協議事項・意見・要望等の趣旨について、それぞれの委員長 の報告は次のとおりです。

### ●産経建設常任委員会

#### ○農林業の役割について

市内の農業者所得を支えていくことのできる新たな特産作物の開発について、県やJA等と一体となった調査・研究によるビジョン構築を期待する。

#### ○流雪溝の流量確保について

冬季間の市街地流雪溝での必要流量にはまだまだ不足しているのが現状であるため、この不足分を少しでも補う方策がないか、十分に検討されたい。

### ●民生環境常任委員会

#### ○ごみの不法投棄について

家電エコポイントや地上デジタル放送完全移行により、家電製品の買い替えに伴う不法投棄

が心配されるので、環境監視員、関係機関等と協力し、監視・パトロールに努められたい。

#### ○国民健康保険の負担について

国民健康保険の運営主体を、市町村から都道府県へ移管することになる新制度では、被保険者だけに負担が増えることにならないよう、国の財源負担について、関係機関等へ積極的に働き掛けられたい。

### ●総務文教常任委員会

#### ○福井国体に向けて

八年後に福井国体の開催が予定されているが、スポーツで本市をアピールする絶好の機会ととらえ、関係者との連携を密にしながら、スピード感ある対応を期待する。

#### ○小中学校の統廃合について

教育委員会における論議が十分ではない感があるので、今後、児童生徒、保護者、地域住民に十分配慮した真摯な論議を望む。

### ●中部縦貫自動車道・国道一五八号整備促進特別委員会

中部縦貫自動車道の大野東・和泉間十四キロメートルについては、現在、道路予備設計を基に、地元との設計協議が進められているとのこと。また先般、平成二十三年度の国土交通省の概算要求において、大野・勝山間が二十四年度内に確実に開通するための予算が要求されたこととで、明るい兆しが見えたように感じる。

### ●議会等改革特別委員会

市で行っているパブリックコメント制度について、十分理解されていない市民もいることから、今後パブリックコメントを実施する際には、本制度の趣旨を周知するとともに、市民・団体からの貴重な意見・提言を幅広く求めるためにも、市報やホームページ等だけではなく、ホームページ等だけでなく、区長会をはじめ各種団体等への周知の方法を考えられたい。

## 議 会 日 誌

### ◆10月

28日 兵庫県芦屋市議会行政視察来訪

### ◆11月

- 1日 第371回臨時市議会
- 8日 全国高速自動車道市議会協議会理事会(東京都)
- 8日～9日 中部縦貫自動車道・国道158号整備促進特別委員会行政視察(長野県松本市、岐阜県美濃加茂市)
- 10日 県下市町議会議員合同研修会(福井市)
- 11日 男女共同参画ネットワーク「議員と語る会」
- 15日 福井県市議会議長会議員研修会(坂井市)
- 16日～18日 総務文教常任委員会行政視察(新潟県佐渡市、糸魚川市)
- 18日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・総会(東京都)
- 19日 決算特別委員会
- 22日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- 24日 県後期高齢者医療広域連合議会(福井市)
- 25日～26日 議会運営委員会・議会等改革特別委員会視察(愛知県新城市、刈谷市)
- 29日 国道158号要望活動(福井市)
- 29日～12月15日 第372回定例市議会

### ◆12月

- 16日 郡上市・大野市合同中縦早期整備要望活動(東京都)
- 20日・22日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会(勝山市)

### ◆1月

- 17日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- 19日 兵庫県篠山市議会行政視察来訪
- 24日 第373回臨時市議会



委員  
浦松 沢川  
井田 田端  
智信 国義  
治子 夫秀

議会だより編集委員会

### 市議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴することができます。  
傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。  
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。  
(0779-66-1111 内線 253)

## 編集後記

明けまして、おめでとうございます。  
平成二十三年度は、第五次大野市総合計画の初年度の年となります。十年後の大野市の将来像に向かい、市議会といたしましても、市民の皆さまとともに、計画に示されたとおりに着実に取り組んでまいりたいと思っております。  
これからも、市民の皆さまに信頼される市議会を目指して、新たな気持ちで編集に当たりたいと思っております。  
今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて、皆さま方のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。